

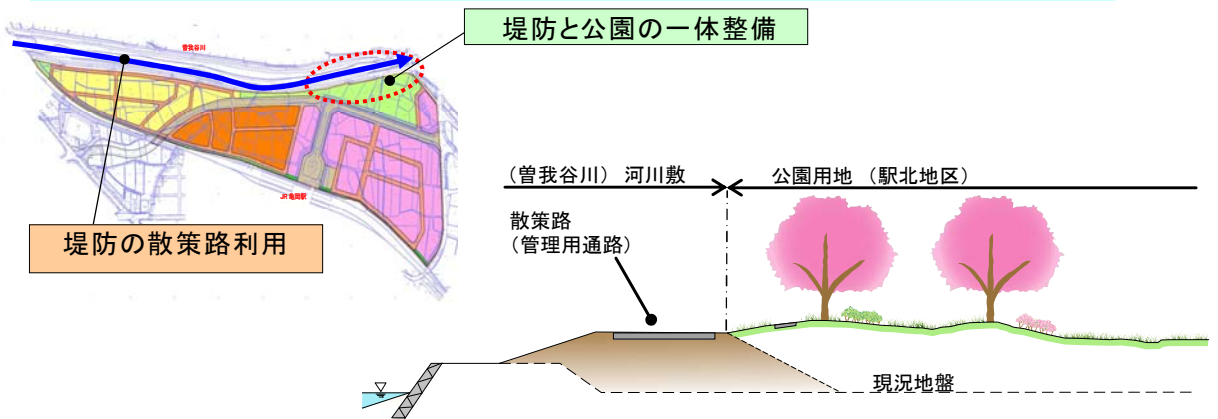
4.4 具体的な整備内容

「保津川かわまちづくり」の目標・整備方針に基づき、考えられる具体的な整備内容について以下に示す。

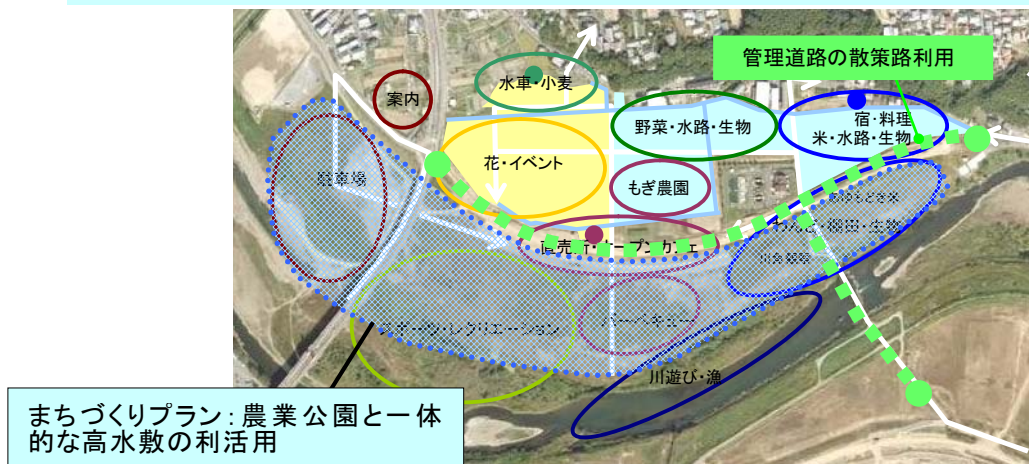
目標1	かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり
整備方針	①かわとまちの接点の一体的整備 かわを活かしたまちづくり、まちを活かしたかわづくりを進めるために、その接点となる区域の整備・活用をかわとまちの両面から一体的に進めていく。
考えられる具体的な整備内容	◆ 駅北区画整理事業との連携 公園に隣接して水辺を感じる散策路を配置し、かわとまちの連続性を確保するとともに、土地の有効活用を図る。また、駅北地区はまちと保津川を“むすぶ”重要な地域であり、亀岡の歴史・文化・自然の魅力を体感できるような、亀岡の新しい玄関にふさわしい景観形成・土地利用誘導をを目指す。 ○ 曾我谷川の一体的整備 ○ 亀岡の新しい玄関にふさわしい景観の形成・土地利用誘導
	◆ 保津町まちづくりプランとの連携 保津町で進められている水端農園プランと連携し、農業公園と水辺公園を連続的に整備することにより、地域で一体的に有効活用する。 ○ 水辺公園の整備（高水敷の利活用）

〈整備イメージ〉

駅北地区区画整理事業と曾我谷川の一体的整備のイメージ



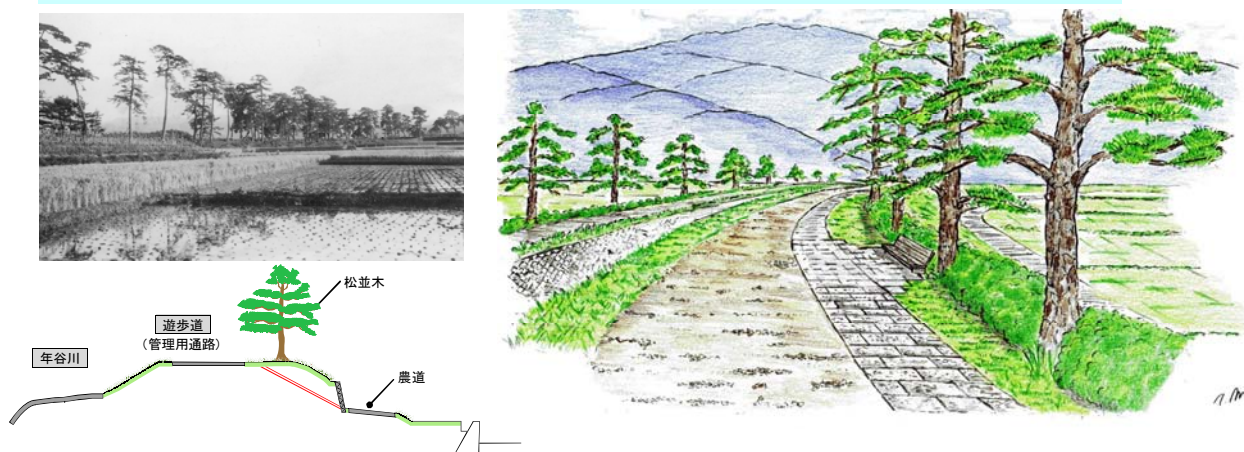
保津町まちづくりプランと連携した高水敷の利活用のイメージ



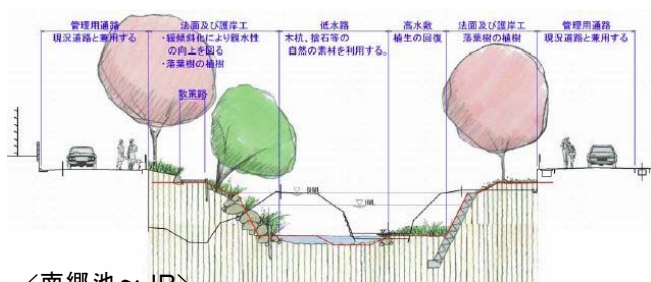
目標1	かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり
整備方針	②かわとまちをむすぶネットワークの形成 保津川と市街地を結ぶ、各支川沿いの管理通路等をおかわとまちをむすぶネットワーク動線として整備・活用する。
考えられる具体的な整備内容	<p>◆支川を活用した散策路の整備</p> <p>市街地と保津川を結ぶ雑水川、年谷川、西川、鶉の川の各支川沿い管理用道路等を、それぞれの支川の特성에応じた環境整備等を施すことで、かわとまちを結ぶ、快適な歩行空間として整備・活用する。年谷川では松並木道を整備し、かつての「野橋立」を復元する。雑水川では改修にあたり、多様な生物の生息環境に配慮した整備を行うとともに、南郷池から保津川を水と緑の散策路でつなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雑水川の散策路整備 (亀山城址・南郷池⇄文化資料館⇄保津川) ○年谷川の松並木道「野橋立」 ○西川の散策路 (JR馬堀駅⇄保津川) ○鶉の川の散策路 (トロッコ亀岡駅⇄山陰古道)

〈整備イメージ〉

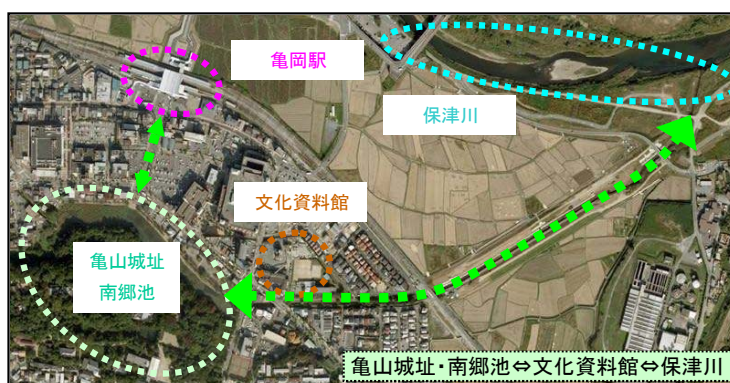
年谷川の松並木道「野橋立」の復元



雑水川の河川整備



〈南郷池～JR〉



目標1	かわとまちを“むすぶ”かわまちづくり
整備方針	③川の楽しさ、恐ろしさを伝える情報の発信 川とのより良い関わりを深めていくため、川の楽しさ、恐ろしさなど川にまつわる様々な情報の発信に努める。
考えられる具体的な整備内容	◆タイムリーな情報の発信 平常時は河川利用の促進やまちづくりに係わる情報を、緊急時には避難、警戒等の情報を迅速に伝える情報発信を行う。 ○HP、広報誌などによるかわとまちの情報発信 ○河川電光情報板の設置
	◆防災意識の啓発 平常時から常に治水防災に係わる情報を目に付きやすい手法で発信し、防災意識の啓発に努める。 ○まちごとハザードマップの整備（実績及び想定洪水標の設置等） ○防災パネル展の開催等

〈整備イメージ〉

タイムリーな情報の発信

「河川電光表示板」



電光掲示板での情報発信
○緊急時：洪水情報など
○平常時：様々な地域情報

「まちなか情報板」



防災意識の啓発

「洪水標識」



「亀岡駅前の洪水標識」

